



ゆざわのほっとな話題

NEWS **HOT** LINE ニュースほっとライン



子どもたちの未来にエールを

6月22日 一般社団法人鶴綜合法務支援センターからの寄付金の贈呈

一般社団法人鶴綜合法務支援センター（代表理事：司法書士法人小澤綜合法務事務所 代表司法書士 小澤寛、写真右）から市へ30万円が寄付されました。

旧雄勝町出身の小澤さんは「子どもたちが進路や将来の仕事について考えるきっかけづくりとして、講演会などの開催のために活用してほしい。多様な仕事を知ること、子どもたちの職業選択の幅が広がればうれしい」と話し、市長に目録を手渡しました。



「ありがとう」をバスに乗せて

6月23日 稲川中学校アートバス事業

今年創立50周年を迎えた稲川中学校で、羽後交通株式会社路線バス車両に絵を描く「アートバス事業」とバスシミュレーターによる「バス運転体験会」が行われました。

アートバス事業では、3年生の生徒たちが感謝のメッセージとともに同校のオリジナルキャラクター「オレスマくん」などの色とりどりのイラストをバスに描き、車体を彩りました。



秋田県南の「ありのままの暮らし」を紹介

6月18日 移住・交流トークイベント「人と暮らしに出会う」

首都圏在住者を対象に、地方の暮らしや日常を知ってもらうきっかけとして、観光以上・移住未満の交流型トークイベントを東京都内で東成瀬村と合同開催しました。

会場では参加型クイズや自治体トークが行われ、司会者とスタッフの掛け合いに来場者の笑顔が広がる場面も。閉会後も参加者同士の会話が続き、終始なごやかな雰囲気の中、両地域の温かい空気感を体感していただける機会となりました。



愛された図書館で最後の集い

6月30日 湯沢図書館閉館セレモニー

昭和57年に開館した湯沢図書館で、湯沢市複合公共施設「Yuinias～ゆいなす～」への移転に伴う閉館セレモニーが行われました。

当日は、思い出の詰まった図書館に別れを告げるために多くの方が来館。同施設の金野寛子館長は「たくさんの方がセレモニーに参加してくれて図書館が地域に愛されていたということを実感した。新しい図書館も皆さんに親しまれる場所にしていきたい」と話していました。